

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告(8/19)

武田壽夫(文、写真)、倉谷邦雄(写真)、山 國(写真)

日 時：2018(平成 30)年 8 月 19 日(日) 9:30～15:30

気 象：天候=晴 (12 時の気温：24℃)

活動エリア：45 林班に-01(作業小屋とその周辺)

活動内容：現地での安全研修 など

参加者：石原順子、泉家恵子、斧田一陽、倉谷邦雄、河野直子、黒山泰弘、

杉本佳英、武田壽夫、宮本 廣、山 國 (計 10 名)

### <年に一度は……>

安全研修が必須。本山寺山の樹林相の特徴、伐木や林床整備の基本的考え方、安全な伐木の基本動作を復習し、改めて実習する、これが森林作業の原点—とすることで、今日は作業小屋前での座学と演習。暑熱を避けて現場作業は早目に終り、席を移しての「懇談」の意味合いもある。

身支度を整え、用具ザックを取り出して組立てテーブルを広げ、図面を出してサア「お勉強、々々々」。

### <curriculum>

#### 1. 座学編

活動地(=本山寺山国有林)の特徴、樹林相、切る木・ダメな木、安全な作業手順、棚積みの基本、等

#### 2. 実技編

広葉樹・針葉樹の安全第一の伐倒演習(選木→伐倒方向確認→ロープ掛け→受け口・追い口切り→棚積み)

#### 3. 懇談編

楓風苑(高槻市内)に場所を移し、懇談の席を囲む

### <森は活きている and 会員短信(=会員が山で会った自然)>

「会員短信」の初回は豊田会員のヤマキマダラヒカゲと宮本会員のピレーネ山脈トレッキング。

(本文 以上)

【作業小屋での演習終了】



【講義中】



【実技演習】－選木し、安全な伐倒方向を決める



【実技演習】－掛かり木は予めチェックしておく



【実技演習】－ロープかけで伐倒方向を調整



【実技演習】－受け口をつくる





【実技演習】-受け口の開度”ヨシ”



【実技演習】-枝を払い、幹は玉切りする



【実技演習(棚積み)】-枝の上に幹を積んだ場合



【用具チェック】



【懇談会】-テーブル上は「花の里弁当」



【今日の落ち穂拾い】珍しい年輪二つの幹



【会員短信】—ヤマキマダラヒカゲ



【会員短信】

ガルバニー大峡谷トレッキングコースの入口

